

看護職員の負担軽減計画(令和6年度)

現状・問題点	対応方針	具体的な計画	達成状況				
			令和6年4月		令和6年8月		
時間外がある 令和4年度 1492h (看護部合計36名) (令和4年度内退職者1名育児休業者2名) 令和5年度 2774h(看護部35名) (令和5年度内退職者1名産前産後休業者2名病気休業者2名育児休業者2名) 令和4年度全体入院患者数19255名 令和5年度全体入院患者数21992名	・残務量の事前申告の意識化を図り時間外が発生しないような業務量の調整並びに応援体制の構築 ・業務内容の再検討・残務内容の分析 ・適正な人員配置	・業務量調査による業務内容の見直し。残務の事前申請の徹底・残務内容、残務時間の客観的評価を定期的実施 ・看護支援システムの効果的な運用・人員の継続的確保 ・外来・病棟クレークの業務分担の見直しと推進 ・業務の状況に応じ他部署からの応援体制の継続・計画的な業務習得	☒	計画策定	☒	未達成	☐
交替制勤務における長時間労働の是正	・業務内容の分析・再検討 ・適正人員の配置	・主に夜勤業務内容の見直し・改善 ・外来当直翌日の勤務について再検討並びに評価	☒	計画策定	☒	未達成	☐
			☐		☐		☐